

ふちゅう歴史散歩 Vol.133

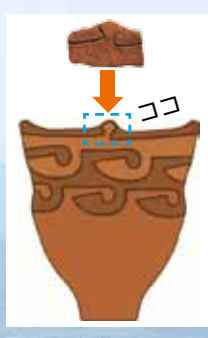
縄文人がいた！
いけのした

池下遺跡

→府中市から出土した縄文土器を中心に紹介しています



図書館・教育委員会などで配布中！



想像図
こんな形かな？



池下遺跡の縄文土器
表面を丁寧に模様で飾っています

池下遺跡は府中町の和光園保育所の地面の下に所在する、縄文時代を中心とする遺跡です。縄文人が住んでいた家や、食べ物を貯める穴などの生活の痕跡は確認できませんでしたが、今から約4000年前（3000年前）に作られた縄文土器がまとまって出土しました。その多くが煮炊きをする鍋や食べ物を盛る皿として使われたものでした。これらの鍋や皿の表面はさまざまな模様で飾られていて、福山市や尾道市の同時期の縄文遺跡から出土した土器の模様や形とよく似ています。何かしらの交流があったのかもしれない。

出土した縄文土器の時期から、少なくとも1000年もの間、この土地に縄文人が住んでいたと考えられます。池下遺跡は南向きのゆるい斜面上に立地していて、日当たりの良い住みやすい土地だったのでしょうか。

池下遺跡の縄文土器を「府中市にも縄文人みつけた！」のパンフレットで紹介しています。また、府中市歴史民俗資料館で土器を一部展示しています。ぜひ、ご覧ください。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見！

「私が受験生になった日」 高校生編 その90



投稿者(文と写真)
府中高校3年
繁柊璃理さん

高校生最後の1年間がやってきます。今までの2年間はあっという間に過ぎ、今度は「受験生」という最も強いプレッシャーの中で1年を過ごします。言い換えると、将来を大きく左右する年だと思えます。しかし、「2年生の3学期は3年生の0学期」と教わり、重大な年に差し掛かっているにも関わらず、勉強は好きになれず、後回しにしようと思気になってばかりでした。そのような中で、私の考えが変わったのは、卒業した部活動の先輩が「受験は早い者勝ち」と私たちにアドバイスをくださったときでした。お話の中で、先輩が受験に対して後悔されていることが強く印象に残り、そのとき初め

て、後悔する自分の姿を思い浮かべました。頑張るのはみんな一緒です。ただ、どれだけの時間頑張るかで結果は違ってくるのだと思います。このコロナ禍で厳しい環境下ですが、重要なのは、周りどどれだけ励まし合い、助け合うかということだと思っています。私は、周りの仲間達に支えてもらっているからこそ強くなり、何度だって頑張ろうと思えます。悔いの残らない道を突き進むために、受験までの一日一日を大切に過ごし、自分の持つ最大限の可能性を将来に繋ぐことのできるよう精一杯の力を発揮していきたいです。

府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30~16:45(そのうちの5分間) RCCラジオ(1530KHz)

今月の放送日 5月9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)

府中市のマチ・ヒト・モノに注目し、聞いて楽しく、府中市を感じられる内容をお届けします。


公式SNS
LINE


公式SNS
facebook


スマホアプリ
radiko(ラジオ)

府中市メール配信サービス

